

(別紙1)

管理運営状況 評価シート【令和2年度】

(評価日 令和3年6月28日)

1 施設の概要

施設名	岩手県立陸中海岸青少年の家
所在地 電話・FAX HP・電子メール	岩手県下閉伊郡山田町船越 2-42 電話 0193-84-3311 FAX 0193-84-3312 ホームページ http://www.echna.ne.jp/~kenritu2/ 電子メール kenriturikuchu@echna.ne.jp
設置根拠	青少年の家条例
設置目的	(設置：昭和52年3月26日) 次代の担い手である青少年に、恵まれた自然環境の中で規律ある共同宿泊生活を体験させ、友情、共同、奉仕等の相互扶助の精神を養い、地域社会の発展に寄与しうる自主的で創造性豊かな青少年の育成を図る。
施設概要	【敷地面積】25,894㎡ 【建物面積】2,975㎡ 【主な施設】○管理・研修棟 ○体育館 ○宿泊棟 ○付帯施設 ○研修機材等 ○ 駐車場
施設所管課	岩手県教育委員会事務局 生涯学習文化財課 (電話 019-629-6171、メールアドレス DB0005@pref.iwate.jp)

2 指定管理者

指定管理者名	公益財団法人岩手県スポーツ振興事業団
指定期間	平成29年4月1日～令和3年3月31日(4年間)
連絡先	盛岡市みたけ1丁目10番1号 電話 019-641-1127

3 指定管理者が行う業務等

業務内容(主なもの)	1 施設等の供用に関すること。 2 施設等の維持管理に関すること。 3 施設の利用促進及び指導に関すること。		
職員配置、管理体制	2名 (令和2年4月1日現在) (内訳) 正職員 1名 期限付臨時職員 1名	組織図	事業団本部 — 総括責任者 — 総括責任者補助 (1) (1)
利用料金	徴収していない		
開館時間	勤務時間 8時30分～17時15分 ※利用団体がある場合は、24時間	休館日	毎週月曜日(ただし、臨時開所することがある。)、12月28日～1月4日、その他所長が定める臨時の休所日

4 施設の利用状況

(単位：人)

(利用者数、稼働率等)	前期間平均	指定管理期間						備考
		29年度	30年度	1年度	2年度	—	期間平均	
第1四半期	8,029	7,396	6,826	6,471	920		5,403	
第2四半期	10,359	8,951	8,141	10,163	3,863		7,780	
第3四半期	5,505	5,334	4,313	3,962	3,403		4,253	
第4四半期	5,017	4,980	4,834	2,506	1,846		3,542	
年間計(実績)	28,910	26,661	24,114	23,102	10,032		20,978	
年間計(計画)		28,151	28,431	28,711	28,991			

5 収支の状況

(単位：千円)

区分	前期間平均	指定管理期間						備考
		29年度	30年度	1年度	2年度	—	期間平均	
収入	利用料金収入							
	指定管理料	34,623	36,286	35,905	35,433	33,949	35,393	
	自主事業収入	364	363	415	396	189	341	
	小計	34,987	36,649	36,320	35,829	34,138	35,734	
支出	人件費	5,971	5,007	4,985	6,475	6,547	5,754	
	維持管理費	29,063	30,788	30,733	30,652	28,861	30,259	
	事業費							
	自主事業費	538	485	482	467	179	403	
	小計	35,572	36,280	36,200	37,594	35,587	36,416	
収支差額	△585	369	120	△1,765	△1,449	△682		

6 利用者の意見等への対応状況

(1) 利用者意見（満足度等）の把握方法

把握方法	アンケートの実施 (研修団体票・主催事業参加者・事業団施設一斉)	実施 主体	陸中海岸青少年の家
------	-------------------------------------	----------	-----------

(2) 利用者からの苦情・要望

受付件数	苦情 2件、要望 0件、その他 0件		
主な苦情、要望等	対応状況		
高気温のため、部屋にクーラーがないのは大変厳しかった。	各宿泊室に扇風機を設置している。廊下設置用の大型扇風機も整備した。		
宿泊室にカメムシがたくさんいた。	日々、注意して清掃はしているものの、季節柄温かい館内に次々と入り込んでくる。夕方の代表者打合せ等の際にカメムシが出ることについて説明をしている。予め準備している掃除機やテープ等を活用して、各自で除去して頂くようお願いし、理解を求めている。		
<p>その他利用者からの積極的な評価等</p> <ul style="list-style-type: none"> 電話対応を含め親切に色々教えて頂きました。 とても親切に対応していただきました。(物品の搬入等) 丁寧に説明をいただき、何度か足を運んでいただきました。ありがとうございました。 時間等予定と大きくずれてしまいましたが、対応していただきました。 いつも温かく対応していただいております。 様々なところでご配慮いただき、安心して、また、気持ちよく利用できました。 出迎え、対応が親切でした。 急な要望にも迅速に対応していただき、本当にありがたかった。 帰りのバスを皆さんで見送って下さり嬉しかった。 当日の突然の依頼(利用人数の減への対応、荷物預かり等)に丁寧に対応して下さり大変助かった。 「どんどん手伝わせてください」という気持ちが伝わる声かけが嬉しかった。 いつも優しくお答えいただき気持ちよかったです。 大変ていねいに対応していただきました。 用具、設備が整っており、大変使いやすかったです。 古い施設の割には、掃除が行き届いていて良かった。 施設・備品などの状況は良かったです。毎回きれいに清掃されていること、きちんと備品等が整頓されていることで活動しやすいです。 全員が完食できました。アレルギーにも対応して下さり、ありがたかったです。「おいしかった。」と子供たちも話していました。 古い物でありながら、よく整備されていて良かったです。 			

7 業務点検・評価 (※)

(1) 業務の履行状況

項目	事業計画、県が求める水準	実績（指定管理者の自己評価）	評価指標
管理業務等	1) 公の施設としての公共性を有することを十分に理解し、その趣旨を尊重した管理業務等の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設の設置目的に沿って、公平・平等かつ公正で透明性のある施設運営に努めた。 ・ 青少年の利用はもとより、広く一般にも施設を利用して頂けるよう、各種自主事業を展開したほか、ボランティア等、震災関連利用についても積極的に受け入れるなど、公の施設が持つ公共性を最大限尊重した施設運営に努めた。 ・ 利用者はもとより、広く外部の声を収集し、それら多様なニーズに応えるため、業務改善に取り組んだ。 	B
	2) 県民の平等な利用の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用目的、年齢等に関わらず、幼児から高齢者まで、より多くの方々に施設を利用していただけるよう、各種自主事業を実施したほか、広報活動やより丁寧な利用ガイダンスに努めた。 	
	3) 設置目的を効率的かつ効果的に達成	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生涯学習、生涯スポーツ・レクリエーション普及・推進の拠点施設として、充実した宿泊研修・体験学習の場となるよう、各種整備に取り組んだ。 ・ 地域の有識者・技能者との連携・協働を進め、海や山など周辺の自然環境を活かした魅力ある自主事業の展開に注力した。 ・ 山田町教育委員会、山田町観光協会、船越湾漁協、山田町小・中学校校長会、地元NPO法人等で組織する外部有識者委員会「運営協議会」を開催。また、沿岸地域の生涯教育活動を担う団体等と「事業企画担当者情報交換会」を行った。 広く外部から施設運営に対する評価や提言等を頂き、その後の取り組みに反映させることで、管理運営水準の向上を図るとともに、開かれた施設づくりを推進した。 	
施設の利用状況	1) 目標値の達成 管理運営計画書に掲げる年間利用者数 28,991 人	年間利用者数 10,032 人 対目標値 △18,959 人	B

<p>2) 上記目標値に向けた取組みと、増減内容の把握</p>	<p>〈取組み〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 出前事業を集客の柱に位置づけ、こちらから積極的に出向いて利用者確保に努めたほか、幼児向けプログラム「マリンキッズ」と新たに高齢者向け体操教室を取り入れ、新規需要の掘り起こしにも取り組んだ。 フリースクール等との連携により、年間を通し様々な「学びの場」を提供することができた。結果、新たな利用者層の獲得に繋がった。 <p>〈増減内容の把握〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 目標値に対して利用者数が減少した主な理由として以下のことが挙げられる。 少子化・人口減少に加え、時間経過とともに震災関連の利用（ボランティア、視察等）が減少していること。 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、宿泊学習の見送り、利用者受入の制限等があったこと。また、自主事業「鯨山登山」、「感謝まつり」、「陸中海岸剣道スポーツ少年団交歓会」も中止となったこと。 	
<p>3) 施設利用促進に係る広報等の実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> 施設要覧及び利用の手引きを更新し主要利用団体へ配布した。 ホームページのほか、ブログやフェイスブックなどSNSを活用して、情報をリアルタイムに発信した。 平成29年度に導入した、「メール一斉配信ソフト」を活用して、希望者に主催事業等の案内を送信した。 学習合宿や冬場のスポーツ利用など、利用目的を絞ったチラシを配布したほか、宮古・釜石地域の学校・幼稚園等を訪問して利用の勧誘を行った。 地元観光協会や町施設の協力を得て主催事業等情報を発信した。 宮古、沿岸南部教育事務所管内校長会議に資料を持参し、各種事業の施設PRを行った。 	

事業の実施状況	管理運営計画に基づく青少年の健全育成に効果的な事業の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全8事業(全11回)を計画したが、3事業(3回)「ワンダフルネイチャー鯨山登山」、「感謝まつり」、「陸中海岸剣道スポーツ少年団交歓会」は関係諸団体と協議し、新型コロナウイルス感染症拡大防止を鑑み中止とした。 ・ 新型コロナウイルス感染症拡大防止に努め6事業(8回)を実施し、延べ846人の参加者を得た。 ・ 運営協議会有識者から、これら実施事業の評価・提言をいただき、事業内容の向上に努めたほか、所の取り組みを関係者に周知する機会とした。 	B
会計業務の状況	<ol style="list-style-type: none"> 1) 適正な契約業務と執行 2) 適正な会計処理の執行 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 適正かつ正確な業務仕様書・積算書の作成と縦覧資料の開示などに努めた。 ・ 業者選定にあたっては、原則、県の入札参加資格者名簿から指名した。 ・ 会計規則に沿って入札等を実施したほか、契約担当者以外の者が業務の完了確認を行うなど、公平・公正・透明な事務執行に努めた。 ・ 顧問税理士の指導の下、公益法人会計に沿って適正に会計処理した。 	B

施設の維持管理状況	1) 施設設備の維持管理等業務の適切な実施	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設点検簿に沿って、1日2回の日常点検を実施。予防保全と不良個所の早期発見、早期修繕に努めた。 ・ 各法令の定めに従い、施設設備の保守点検・検査等を確実に実施した。 ・ 重点点検月を設け、普段目が届きづらい箇所の清掃・補修等を行った。 ・ 委託業者に対する業務指導を徹底し、安全性・利便性の確保など、利用者サービスの向上に取り組んだ。 ・ 備品においては、点検表を作成し、年1回自主点検を実施したほか、利用頻度の高いバスケットゴールについては月1回の点検を実施した。 ・ 登山道やウォークラリーコースの草刈、伐木等整備を行うため、労働基準法に定める安全衛生教育講習を受講するなど、維持管理に従事する者の資質向上と作業中の事故防止に取り組んだ。 ・ 体育施設管理士（事業団有資格者）による巡回指導を実施し、より専門的な視点による施設管理に取り組んだ。 ・ 経年劣化により不具合が生じていた浄化槽の更新工事を実施していただき、懸案事項を解決することができた。 	B
	2) 公有財産の適切な管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 財産の現状維持に努めるとともに、その状態を台帳等に記録・保存している。 ・ 破損や故障が生じた際は、速やかに県に報告するとともに、現状復旧等適切に対応した。 	B
	3) 備品台帳との整合性を図る	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年1回備品一覧表との照合確認を実施した。 ・ 備品の更新、廃棄等があった際は、速やかに台帳を更新した。 	B

記録等の整理・保管	各種帳票書類の適正な整理保管	<ul style="list-style-type: none"> 各種帳票書類は、保存区分に沿って整理保管している。 個人情報については、事業団の取扱要領に従い、外部漏えいしないよう厳重に保管している。 定めた保存期間を過ぎた文書・帳票類については、適切に廃棄処分している。 	B
自主事業等の取組み	施設の設置目的に沿った、利用促進に繋がる方策に基づく事業の実施	<ul style="list-style-type: none"> 利用者ニーズの把握に努め、利用者満足度の高い事業運営に努めた。 実施事業毎に内部評価を行い、スクラップ&ビルドを基本とし、新たな要素を取り入れるよう工夫した。 全職員に「事業提案シート」の提出を求め、新たな事業企画を模索した。 県立3青少年の家合同事業「親子deチャレンジ!」を引き続き実施したほか、Xmas&お正月飾り作り、ミニバスケットボール交流会、フットサル交流会など多彩な事業を展開し、施設利用者を確保するとともに青少年の家の活動を広く知っていただく機会とした。 陸中海岸青少年の家ならではの海を活用したプログラムとして、「親子でエンジョイ1day 夜釣り」を実施した。 	B
<p>(施設所管課評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> 成果のあった点 幼児向けプログラムや高齢者向け体操教室を取り入れ、新規需要の掘り起こしに取り組んだことや、施設の特性である海を活用した自主事業を実施した。 施設の利用促進に向けた広報活動についても、SNSの活用や地元観光協会等と連携して情報の発信に努め、利用促進へつなげた。 改善を要する点 利用者数については、新型コロナウイルス感染症の影響で減少しているが、引き続き利用促進につながる取り組みに努めて欲しい。 			B

(2) 運営体制等

項目	事業計画、県が求める水準	実績（指定管理者の自己評価）	評価指標
職員の配置体制	各業務に適した職員及び必要な有資格者の適正な配置	<ul style="list-style-type: none"> 管理計画書のとおり防火管理者等の有資格者及び業務に精通した者を配置した。 業務上有用な研修等の受講及び資格取得等を励行し、職員の資質向上に取り組んだ。 	B

<p>苦情、要望対応体制</p>	<p>利用に関する各種問い合わせや要望及びトラブル等の適切な対応</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 懇切丁寧な利用案内に努めた結果、利用者アンケート調査の結果において高い評価を得ることができた。 ・ クレームについては、事業団クレーム対応要綱に沿って対応体制を構築している。当該年度、悪質なクレームは無かった。 ・ 利用者アンケート調査を実施し、要望等については可能な限り速やかに対応したほか、これら対応状況をホームページで公開した。 	<p>B</p>
<p>危機管理体制（事故、緊急時の対応）</p>	<p>災害時・緊急時の対応や、防犯・防災対策として、マニュアルの作成や訓練の実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業団危機管理対応要綱及び危機管理要領に沿って「非常時対応マニュアル」を作成し、有事の対応に万全を期した。 ・ 事業団実施の普通救命講習に参加したほか、年2回自衛消防訓練を実施した。 	<p>B</p>
<p>コンプライアンスの取組み、個人情報の取扱い</p>	<p>基本協定に基づく秘密の保持、個人情報保護及び法令遵守の確保 個人情報に関する書類の適切な保管管理</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業団個人情報の保護に関する規定及びコンプライアンスマニュアルに基づき適切に対応した。 ・ 個人情報取得の際は、利用者の同意を求め、取得目的以外には使用しないよう職員に周知・徹底した。 ・ 事業団が実施する各種研修会に、管理職を含め参加するなどし、意識醸成に努めた。 ・ 年2回行っている所内会議の中で、コンプライアンスに関する所長・次長講話を実施した。 ・ 書類の保管・廃棄についても、マニュアルに沿って適正に処理した。 	<p>B</p>

<p>県、関係機関等との連携体制</p>	<p>基本協定に基づく関係機関等との協力連携及び良好な関係の維持</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県及び関係機関との綿密な連携に努め、良好な関係を維持している。 ・ 引き続き山田町教育委員会と連携して、鯨山登山道の整備を行ったほか、共催で事業開催するなど、関係を深めた。 ・ 区界高原少年自然の家の協力を得て自主事業を企画・実施した。 ・ 外部有識者委員会（運営協議会）を介して、地元の多様な団体等と連携したほか、情報交換を行った。 ・ 「三陸リアス・シェアリングネイチャーの会」などの団体と新たな活動プログラムの企画を進めた。 	<p>B</p>
<p>(施設所管課評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 成果のあった点 概ね適正に運営されていると認められる。 新型コロナウイルス感染症対策では、県と連携して施設を適切に管理運営した。 ・ 改善を要する点 特になし。 			<p>B</p>

(3) サービスの質

項目	事業計画、県が求める水準	実績（指定管理者の自己評価）	評価指標
<p>サービス向上の取組み</p>	<p>サービス向上のための研修等の実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外部講師による接遇研修を年2回実施（事業団主催）した。 	<p>B</p>
<p>利用者サービス</p>	<p>利用者サービス向上に向けた方策に基づく、適切な利用者サービスの実施</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 利用者の要望に応じた施設開所 2) 利用者の意見を反映させた青少年育成事業の実施 3) 青少年育成の場として適正な施設環境及び設備機能の維持(衛生環境保持、安全点検、修繕等) 4) 障がい者等特別な配慮が必要な利用者に対する柔軟な対応、施設設備の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年間15日の臨時開所を実施し、20団体の要望に応えた。 ・ 外部有識者委員会（運営協議会）を開催し、広く外部の意見を収集、事業運営に反映した。 ・ 研修団体票等、各種アンケート調査の結果を踏まえ、方針を立て改善に取り組んだ。 ・ 安全、快適に利用していただくため、計画的な施設点検・修繕、清掃に取り組んだ。 ・ アメニティの充実という観点で、平成30年度から浴室にシャンプー、リンス、ボディーソープを設置し利用者から好評を得 	<p>B</p>

		<p>ている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 宿泊室ベッド周りの集中清掃を年1回実施した。 ・ カメムシ等の不快を与える虫類の除去、マムシ、ハチの巣駆除、クマ除け鈴や撃退スプレーの貸与等、安全対策の強化に努めた。 ・ 登山道、ウォークラリー・アニマルハンティングコースの草刈や倒木処理、枝打ちを行い、安全確保に努めた。 ・ 食物アレルギーや障がいについて、事前調査を行い、食堂スタッフも含め全職員に周知するとともに、適切な対応を徹底した。 ・ 自閉症や発達障がい等を持つ子どもについても、積極的に受け入れた。 ・ 玄関前や花壇に花を植えるなどの美化活動を行った。 ・ SNS（ブログ・フェイスブック）を活用し、リアルタイムな情報発信を行った。 	
利用者アンケート等	<ol style="list-style-type: none"> 1) 利用者アンケートや意見箱の設置による利用者ニーズの把握 2) アンケート結果に基づく業務改善 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用団体には研修団体票、個人には所独自の利用者アンケートを記入してもらい、その結果を管理運営に反映させた。 ・ 事業団管理施設共通アンケートを実施。その結果を管理運営に反映させるとともに、ホームページで公表した。 ・ 自主事業参加者にもアンケート調査を実施して、利用者ニーズの把握と改善点の収集を行った。 	B
<p>(施設所管課評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 成果のあった点 利用者アンケートのほか、外部有識者委員会（運営協議会）を開催し、幅広い意見を参考にしながら施設運営に取り組んでいるほか、臨時開所を行うなど利用者のニーズを捉えた施設運営に努めた。 ・ 改善を要する点 特になし。 			B

(4) サービス提供の安定性、継続性

項目	事業計画、県が求める水準	実績（指定管理者の自己評価）	評価指標
事業収支	管理運営計画における収支の積算に対する適正な収支実績	<ul style="list-style-type: none"> 会計諸帳票は、公益法人会計基準に定められたとおり作成しており、運営計画との整合性が図られている。 予算の執行にあたっては、利用者に不便をかけないこと、施設運営に支障がないこと等を前提に、効率的な執行に努め、適切に執行した。 	B
指定管理者の経営状況	経営基盤の安定及び計画に沿った管理能力	<ul style="list-style-type: none"> 公益法人としての活動について、毎年、公益認定委員会の評価を受けており、経営について適正であるとの評価を得ている。 当事業団は、昭和60年の設立以来、借入金及び貸付金等はなく健全な財務を維持している。 業務を適正に成し得るだけの有資格者、経験者を有しているほか、適時職員の資質向上にも努めており、十分な管理能力を保持していると考えます。 	B
(施設所管課評価) ・成果のあった点 概ね適正に運営されていると認められる。 ・改善を要する点 特になし。			B

※（注1）県記載欄：「事業計画・県が求める水準」、「評価指標」「施設所管課評価」

指定管理者記載欄：「実績（自己評価）」

（注2）評価指標

- A：協定書、提案書等の内容について高レベルで実施され、また、計画を上回る実績（効果）があり、優れた管理がなされている。
- B：概ね協定書、提案書等の内容どおり実施され、計画どおりの実績（効果）があり、適切な管理が行われている。
- C：一部、改善・工夫を要する事項が見られたが、改善済み、または改善される見込みである。
- D：協定書等の内容に対し、不適切な事項が認められ、改善を要する。

8 指定開始年度から評価年度までの総合評価

(1) 指定管理者の自己評価

<p>① 成果があった取組み、積極的に取り組んだ事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の団体・個人との連携・協働を進めている。山田町教育委員会とは、利用プログラムの一つにもなっている「鯨山」の登山道を共同で整備した。「三陸シェアリングネイチャーの会」などの協力を得て企画した事業は参加者の評価が高く、利用促進につながっている。 平成30年度に上記団体等と「事業企画担当者情報交換会」を立ち上げ、それぞれの課題、思いを持ち寄り、協議を進めることができた。今後も自主事業や施設利用者の確保、施設管理の面において、これら団体等と関係を強化していきたいと考えている。 広く外部の意見・提言を求めるために、外部有識者委員会「運営協議会」を実施しており、令和2年度で第8回目となる。当所の運営についての意見・提言のほか、事業等で活用できる有用な情報を多数寄せてい

<p>ただいた。本委員会を通して、当所の活動方針や現在取り組んでいる課題等への理解・周知が進んでいるものと考えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ フリースクールとの連携により年間を通して多くの学びの場を提供している。団体からの評価も高く、利用促進につながっている。 ・ 安全で快適な利用環境を維持するため、敷地内及びウォークラリーコースの芝草刈のほか、枯損木の除去、枝打ち、グラウンド不陸整地等、利用環境の向上・美化、安全確保に取り組んだ。計画的な研修育成に努めた結果、課題となっていた刈払機・チェンソー有資格者も増え、作業効率が向上した。 ・ 職員による不良個所の補修等により、管理運営費縮減に取り組んだ。 ・ 玄関前や花壇の環境美化に取り組んだ。 ・ メール一斉送信ソフトを活用し、配信希望があった方々に対して、開催事業案内等を事前通知するなどした。ボランティア募集や提言投稿などにも活用を広げていきたい。
<p>② 現在、苦慮している事項、今後、改善・工夫したい事項、積極的に取り組みたい事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 施設・設備の老朽化への対応 ・ 大震災後の沿岸地区の人口減、児童・生徒数減少の中での利用者確保 ・ 地域、技能者、団体との連携・協働の積極的な取組み ・ 地域、施設が抱える課題解消の取組み
<p>③ 県に対する要望、意見等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 施設・設備の老朽化に伴う本格的な改修が必要と思われる。 ・ 施設改修にあたっては、環境へ配慮し、省エネ構造にするようお願いしたい。

(2) 県による評価等

<p>① 指定管理者の運営状況について</p> <p>自然環境を活かした自主事業や出前事業等の実施で利用者から好評を得ているほか、環境整備及び広報活動にも力を入れ、施設の利用促進に向けて取り組んでいる。</p>
<p>② 県の対応状況について（自己評価）</p> <p>昨年度同様に、毎月の定期報告により施設の管理状況・利用状況等を把握するとともに、施設・設備の老朽化が進んでいることから、修繕状況の把握に努めた。予算の確保及び工事の施行等、引き続き指定管理者と連携して適切な施設整備に努めたい。</p>
<p>③ 次期指定管理者選定時における検討課題等</p> <p>特になし。</p>

9 改善状況等

<p>改善を要すると評価された項目（C、D評価の項目について）</p> <p>該当なし</p>
<p>改善状況</p> <p>（指定管理者から県への報告年月日：令和 年 月 日）</p>
<p>改善状況の確認</p> <p>（確認年月日 令和 年 月 日）</p>